

令和4年度 シラバス (公民)

教科 (科目)	公民 (政治・経済)	単位数	2 単位	学年 (コース)	2 学年
使用教科書	第一学習社『高等学校 改訂版 政治・経済』				
副教材等	東京法令出版『テーマ別資料 政治・経済 2022』				

1 学習目標

- ①民主政治の基本原則を理解する
 ②日本の政治のしくみを理解し、そのかかえる問題について主体的に考える基礎学力を養う。
 ③現代の経済のしくみを理解し、そのかかえる問題について主体的に考える基礎学力を養う。

2 指導の重点

- ①民主政治の基本原則と発展の歴史を理解させる。
 ②日本国憲法とわたしたちの生活の関連について理解させる。
 ③国際社会、国際経済とわたしたちの生活の関連について理解させる。
 ④新聞、時事ニュースなどを利用して、現代の諸問題について興味・関心をもたせる。

3 指導計画

月	学習内容	主要学習領域	学習活動	時間	評価方法
4	第1編 現代の政治	政治と法の機能	・講義、発問形式 視聴覚教材、資料集、新聞等 を利用し、現代政治の諸課題 について自ら学ぶ姿勢を身 につけることができるよう に指導する。	5	諸課題提出 授業への取り組み
5		日本国憲法の基本原則		15	定期テスト ノート提出 諸課題提出 授業への取り組み
6		平和主義と基本的人権		15	諸課題提出 授業への取り組み
7		日本の政治機構と選挙 制度		15	定期テスト ノート提出 諸課題提出 授業への取り組み
9		現代の国際政治と日本		15	諸課題提出 授業への取り組み
10	第2編 現代の経済	経済主体と経済活動	現代経済の諸課題について、 多面的に考察、探求し、広い 視野に立って主体的に考察 できるように指導する。	15	定期テスト ノート提出 諸課題提出 授業への取り組み
11		財政・金融のしくみ		15	諸課題提出 授業への取り組み
12		日本経済のあゆみ		15	定期テスト ノート提出 諸課題提出 授業への取り組み
1		国民経済と国際経済		15	諸課題提出 授業への取り組み
2				15	定期テスト ノート提出

3	第3編 現代社会の 諸課題	社会保障、雇用問題、 環境問題	各自が選択したテーマへの 考察を深めるように指導す る	5	レポート提出
---	---------------------	--------------------	-----------------------------------	---	--------

計 70 時間 (50 分授業)

4 課題・提出物等

- ・各学習領域にかかわるプリントを提出。
- ・定期テスト後ノート・レポートなどを提出します。
- ・時事問題などについての感想文。

5 評価規準・評価方法

評価は次の4観点から行います。			
①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③資料活用の技能	④知識・理解
現代社会と人間についての関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、平和で民主的な社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけている。	人間の存在や価値について幅広い視野に立って多面的、多角的に考察、探究し、その過程や結果を適切に表現している。	①政治・経済についての基礎知識をふまえ、新聞、テレビニュースなどの内容を理解している。 ②さまざまな時事問題について自分の考えをまとめたり、発表したりしている。	①政治・経済の基本的なしくみについて理解している。 ②現代社会がどのような諸課題をかかえているのか理解している。
以上の観点をふまえて、定期テストの成績・課題の提出状況・授業態度・出席などから総合的に判断して評価します。			

6 担当者からの一言

新聞やニュースからの情報、話題なども取り入れながら、社会の一員となる上で必要な基礎知識を学びます。日々の国内、世界のさまざまなニュースについて興味・関心を持ち、わたしたちの生活との関連について考えていきましょう。

(担当：笠原 真理子)

教科 (科目)	公民 (倫理)	単位数	2 単位	学年 (コース)	3 学年
使用教科書	数研出版『改訂版倫理』				
副教材等	第一学習社『テオリア最新倫理資料集新版四訂』				

1 学習目標

人間尊重の精神に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めるとともに、人格形成に対する実践的意欲を高め、複雑な現代社会を主体的に生きるための自己を確立し、良識ある公民としての必要な能力と態度を育てます。

2 指導の重点

- ① 複雑で多様な課題を抱える現代社会を、よりよく生きていくため、「自己とは何か」「いかに生きるべきか」などについて、先哲の思想にふれながら考えます。
- ② 西洋近代思想の現代への影響を考察しながら、現代倫理についての探求を深めます。
- ③ 近現代の思想、日本の伝統的思想、などについて国際社会との関係を踏まえながら学びます。

3 指導計画

月	学習内容	主要学習領域	学習活動	時間	評価方法
4	「人間とは何か」 「青年期の課題と自己形成」	人間存在、倫理を学ぶ意義、 青年期の課題と自己の形成	・ 基本的に講義形式で行う。	8	諸課題 ノート 提出
5 6 7	「人間としての自覚」	真理の探究 ・ 古代ギリシャの思想 一神教の教え ・ ユダヤ教 キリスト教 イスラーム教 ・ 仏教 (苦と解脱) ・ 徳と政治 (中国思想)	・ 資料集や視聴覚教材を必要に応じて活用し、生徒自らが自己確立に向けて探求する姿勢を身につけることができるよう指導する。	1 8	定期 テスト ノート 提出
9 10 11	「現代に生きる人間の倫理」	理性への信頼と人間の尊厳、自然・科学技術と人間、個人・社会と自由、民主社会の論理	・ 西洋近代の思想が現代とどのような関連を持つか、多面的、多角的に考察できるように指導する。	2 0	定期 テスト ノート 提出
12 1	「国際社会に生きる日本人」	日本の風土と人々の考え方、仏教の受容と展開 儒学の受容と国学の発達、近代日本の思想 国際社会を生きる日本人	日本の伝統思想や近現代の思想に対する探求を通して、複雑な現代の国際社会を主体的に生きるための指針を確立できるよう指導する。	1 6	定期 テスト ノート 提出
2 3	「現代の諸課題と倫理」	人間と自然 地球環境の危機と倫理 社会生活と自己 家族・地域社会の倫理 国際社会と自己 人類の福祉	・ 複雑な現代の国際社会を主体的に生きるための指針を確立できるよう指導する。	8	定期 テスト ノート 提出

計 70 時間 (50 分授業)

4 課題・提出物等

定期テスト・ノート・レポートなどを提出します。

5 評価規準・評価方法

評価は次の4観点から行います。

(①関心・意欲・態度)	(②思考・判断・表現)	(③資料活用の技能)	(④知識・理解)
現代社会と人間についての関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、平和で民主的な社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけている。	人間の存在や価値について幅広い視野に立って多面的、多角的に考察、探究し、その過程や結果を適切に表現している。	青年期における自己形成や人間としての在り方生き方に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、自己確立に資するように活用し、適切に表現している。	人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事項や、国際社会を生きる主体としての自己確立、などについて理解し、人格形成や生きがいに対する知識を、自分のものとして身につけている。
以上の観点をふまえて、定期テストの成績・課題の提出状況・授業態度・出席などから総合的に判断して評価します。			

6 担当者からの一言

社会や人々とのつながりの中で、私たちは毎日を過ごしています。倫理は、人間や世界をどのようにとらえ、大切なことは何かを考える科目だと思います。色々な人物の思想やメディアからの情報、またクラスメイトの意見などを参考にしながら、自分ならどのように考え、行動するかを意識しながら学ぶことが大切だと思います。

(担当：笠原 真理子)